

廃村続出の時代を生きる

南の島じまからの視点

4月中旬
刊行

安溪遊地 編著 A5判 280頁 定価(本体2,500円+税)

崩壊する村々を前にして

今、地方に暮らす誰もが、人口減と生活基盤の崩壊への危機感を抱いている。南の島での数々の廃村研究を踏まえ、足下から未来を切り開く術を探る。

■本書の内容(目次より)

第1部 西表島の廃村と人々の暮らし

- 第1章 廃村の考古学
- 第2章 廃村の住民の語り
- 第3章 明治19年田代安定「八重山島巡検統計誌」
- 第4章 戦争の爪痕

第2部 若者たちとの廃村探訪

- 第5章 屋久島フィールドワーク講座
- 第6章 世界遺産の森を歩く
- 第7章 山の中の電化生活
- 第8章 屋久島最高の村

第3部 何が限界か

- 第9章 やんばるの森の別天地
- 第10章 火山の島に生きる
- 第11章 廃村続出の時代をどう生きるべきか



■編著者紹介

安溪遊地 (あんけい・ゆうじ)

1951年生まれ。日本生態学会自然保護専門委員。山口県立大学国際文化学部教授。人類学専攻。主な著作に『奄美沖縄環境史資料集成』(南方新社、共著)『奄美戦時下 米軍航空写真集』(南方新社、共著)『西表島の農耕文化』(法政大学出版局)宮本常一との共著で『調査されるという迷惑』(みずのわ出版)など。

未来を拓く持続可能な
生活様式の確立

(キリトリ)

ご注文は **FAX 099-248-5457**

図書出版 南方新社 Eメールinfo@nanpou.com
〒892-0873 鹿児島市下田町292-1 TEL099-248-5455

注文書	書店番線印	冊数	日付	ご担当者	書名
		冊	/	様	廃村続出の時代を生きる ISBN978-4-86124-363-9 C0036 ¥2500E 定価(本体2,500円+税)
		個人注文欄	氏名	〒 -	
		住所			

*注文はお早めに *切り取って最寄りの書店か、直接南方新社まで電話、FAX、Eメール(info@nanpou.com)でお申し込みください(送料無料)。